

後期基本計画 令和 4年度 政策方針書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 木下 昇三
----------	--------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

		<p>目指す姿は「競争力・市場性のある産業と、安定した雇用・定住・後継者育成が循環的に発展するまち」です。各産業分野と労働力が、また滝沢市の特性や地域資源を活用しながら、交流人口、異業種連携、付加価値などによりバランスよく発展するとともに、市民や地域が潤っている状況です。</p>
--	--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	55.1	57	58	60	61	61	-
			53.4	52.3	54.5	-	-	0.0
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	36.3	40	43	47	50	50	-
			36.6	36.3	34.7	-	-	0.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	41.9	43.9	46	48	50	50	-
			48.7	48.9	0	-	-	0.0
2	幸福 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	-
			69.1	68.1	0	-	-	0.0
3	暮らし 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 法人事業所数 単位 所以上	956	956	956	956	956	956	-
			967	989	0	-	-	0.0
4	幸福 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	36.3	39	43	46	50	50	-
			36.6	36.3	0	-	-	0.0
5	暮らし 03030000 農林業の振興と担い手の支援 農業後継者（販売農家）の有無の割合（令和4年度から後継者を確保している経営体の割合） 単位 %以上	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	-
			58.6	37.6	0	-	-	0.0
6	幸福 03030000 農林業の振興と担い手の支援 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で生かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	36.3	39	43	46	50	50	-
			36.6	36.3	0	-	-	0.0

後期基本計画 令和 4年度 政策方針書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名

経済産業部長 木下 昇三

2. 政策の実現に向けての現状を認識する

(1) 政策目標の進捗状況分析

盛岡西リサーチパークやイノベーションセンター、イノベーションパークには、今後本市産業の核となると思われる企業が集積しつつあり、イノベーションパークにおける残りの分譲地についても積極的に企業誘致を推進しています。

また、第1次産業においても、六次産業や特産物のブランド化、販売促進など、毎年あらたな取り組みが活発に行われています。

労働人口については依然都市一極集中等による人手不足は継続していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワーク、オンライン会議など新しい生活様式により仕事のあり方について多様化している状況にあります。

(2) 政策の実現に影響する社会環境変化

世界規模では、TPP11、日欧EPA、RCEPなど関税引き下げ協定、低価格化競争など第1次産業は先行きが見通せない状況にあります。また、新型コロナウイルスの影響により輸出入の低迷やインバウンドなどの交流人口の減少など国内外の経済に与える影響は多大なものがあります。

一方で、IT関連や一部製造業は成長が続いており、本市中小企業にも直接関係しています。

3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・関係団体やビッググループ滝沢と連携しながら情報共有、イベント開催による各種情報の発信をします。観光物産については、既存の自然や文化、ブランドをいかしつつ、新たな地域資源のほりおこしや情報発信、観光地としての受け入れ態勢（おもてなしの心など）の整備等に努めます。
- ・IT企業の誘致を進めるとともに、岩手県立大学やイノベーションパーク・イノベーションセンターを拠点とした産学官連携を推進し、市内商工業者の生産性向上に向けた支援などに取り組みます。また、新たな産業拠点についての検討を行います。
- ・農地集積の推進、酪農・畜産の振興により、次代の担い手の育成・確保に努め、また日本型直接支払制度や森林整備を推進し、農地や森林が有する多面的機能の持続的な発揮を目指します。
産直施設のネットワーク化や食育と連携した食の安全・安心を基本とする地産地消を推進し、第6次産業等と複合的な持続可能な農林業を育成します。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和4年度の重点課題

- ・「新たな生活様式」の対応を行いつつ地域の魅力の情報発信に取組みます。また、新たな観光政策のありかたについての検討を始めます。
- ・企業誘致を推進するとともに、イノベーションパークの用地拡大について岩手県、県立大学と事前協議を進めてまいります。「滝沢市産業振興条例」の市民の皆様への浸透及び展開を行います。
- ・「人・農地プラン」の実質化による地域の担い手への農地集積や日本型直接支払の推進と新規就農者の支援及び産直や食育と連携した地産地消を推進し、持続可能な農業経営体の育成を図ります。また、森林環境譲与税による森林活性化に取り組みます。

(3) 基本計画内方針及び令和4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・「地域資源を活用した戦略的な産業振興」については、新しい総合計画策定に合わせて観光振興に係る新たな計画を策定し、関係機関と連携し多様化するニーズに対応しながら観光振興、物産振興の展開を図ります。
- ・「ICT企業集積と産学官連携の推進」については、継続的な企業誘致の推進、誘致企業と地元企業のマッチングによる生産性向上の推進、AIやICTの活用による地域課題解決など市民と企業の交流機会の創出支援を図ります。
- ・「農林業の振興と担い手の支援」については、農地中間管理事業による農地集積の推進、日本型直接支払の実施、酪農・畜産振興を支援する相の沢牧野の運営管理、また森林環境譲与税を活用し所有者の意向調査や森林整備の長期計画の作成を実施します。農業青年や新規就農者、認定農業者に対し、関係機関と連携して支援や指導を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式の対応と経済活動の両立を推進するため、関係機関と連携し支援してまいります。

